

エルサルバドル政治経済月報 (2026年7月)

2026年7月
在エルサルバドル大使館

内政

1 2027年総選挙：与党・新思想党の党内選挙の実施（報道）

7月12日、新思想党は2027年総選挙に向けた党内選挙を実施し、大統領・副大統領、60名の議会議員及び44名の市長候補を選出した。なお、議会の第15選挙区（在外エルサルバドル人枠6名）については、11～12日にかけて、在外各所で実施された。大統領・副大統領候補にはブケレ大統領、ウジョア副大統領が選ばれた。また、81名が立候補した議会議員候補60名には、カストロ議会議長、カジェハス第一副議長他、現役の議員43名、6名の現役代理議員、1名の元代理議員が選出され、10名が新人となった。

2 大統領連続再選に対する意見表明：ブケレ大統領SNS

7月14日、ブケレ大統領は、自身のXにて、13日にカロリナ・ヒメネス・サンドバル氏（注：NGOワシントン・ラテンアメリカ局代表）が、新思想党の党内選挙によりブケレ大統領が大統領選の候補と決定した、とのEFE通信による報道を引用し、「ラ米で任期制限のない再選が認められている国：ベネズエラ、ニカラグア、エルサルバドル。ナイブ・ブケレが今、どの『クラブ』に加わることになるのかははっきりさせよう」と投稿したことを受け、大統領連続再選を認める憲法改正は、エルサルバドル国民が投票で民主的に与えた立法府の過半数以上の賛成によって行われたものであり、わが国の選挙は数千人の国際代表团によって監視されてきたが、民主的な選挙ではなかったと宣言したことは一つもないと反論した。

外交

1 ブケレ大統領とトランプ米大統領の会談（ホワイトハウスHP、当地紙報道）

7月16日、ブケレ大統領が訪米し、トランプ米大統領とホワイトハウスで会談した。ホワイトハウスのトランプ大統領の日程では明らかにされたが、会談後、両大統領からの発表は一切なく、協議された内容等については不明。

報道では、9月に期限が切れる対エルサルバドル人TPS（一時保護資格）の延長について話し合われたのではないかと推測されている。

経済

1 電力部門のエネルギー・炭化水素・鉱業局への権限移譲（報道）

7月2日付当地主要紙は、議会が政府電力部門所管について、従来の電気通信監督庁（S I G E T）からエネルギー・炭化水素・鉱業局（D G E H M）へ移管する法改正を承認した旨報じた。S I G E T 設立法が改正され、名称を「通信監督庁（Superintendencia General de Telecomunicaciones）」と改め、組織名称から「電気」の文言が消除されたほか、規制の適用、料金設定、統計収集、協力など、電力部門に関するあらゆる記述が削除された。

2 4本の知的財産条約への批准（経済相SNS・報道）

7月8日、アエム経済相は、世界知的財産機関（W I P O）に4本の知的財産条約（意匠の国際登録に関するハーグ協定、特許法条約、商標法に関するシンガポール条約、リヤド意匠法条約）への批准文書を提出した。知的財産に関する国際基準の採用は、本年1月の米国との相互貿易協定交渉（未発効）に含まれていた貿易障壁撤廃のための取り組みの一つであり、エルサルバドルへの投資、事業展開、技術革新を行う企業・団体により大きな信頼を提供するとした。

3 全国製造協会（A S I）主催：輸出産業ランキング2026での日系企業「Kyocera AVX社」受賞（A S I）

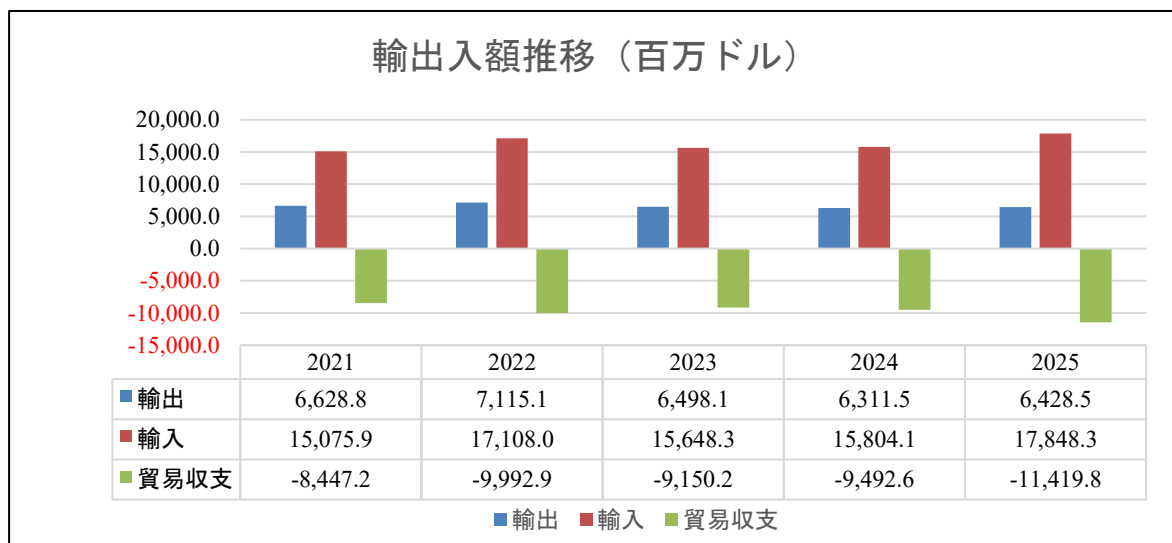
7月22日、全国製造協会（A S I）は、2025年のエルサルバドルからの輸出に大きく貢献した企業を讃える受賞式「2026年輸出産業ランキング（Ranking de Exportadores Industriales 2026）」を開催し、当地進出日本企業Kyocera AVX社がエレクトロニクス部門及びカテゴリー別特別賞「ユニークな国々への輸出企業」を受賞した。

4 ジンジャー・ゲーツ国立A I 庁（A N I A）戦略アドバイザーの就任（A N I A）

7月20日、国立A I 庁（A N I A）は、公式SNSにて、ジンジャー・ゲーツ（Ginger Gaetz）氏が同庁戦略アドバイザーに就任したと発表。同氏は、A N I A の国際的なネットワークの拡大、米国トップクラスのエコシステム、企業パートナー、そして一流大学との連携強化に注力し、影響力の大きい人材の育成とスタートアップの創出を促進するとした。マット・ゲーツ前米国下院議員の配偶者である同氏は、経済学及び会計学を専攻し、テクノロジー企業での勤務経験を有すると報じられた。

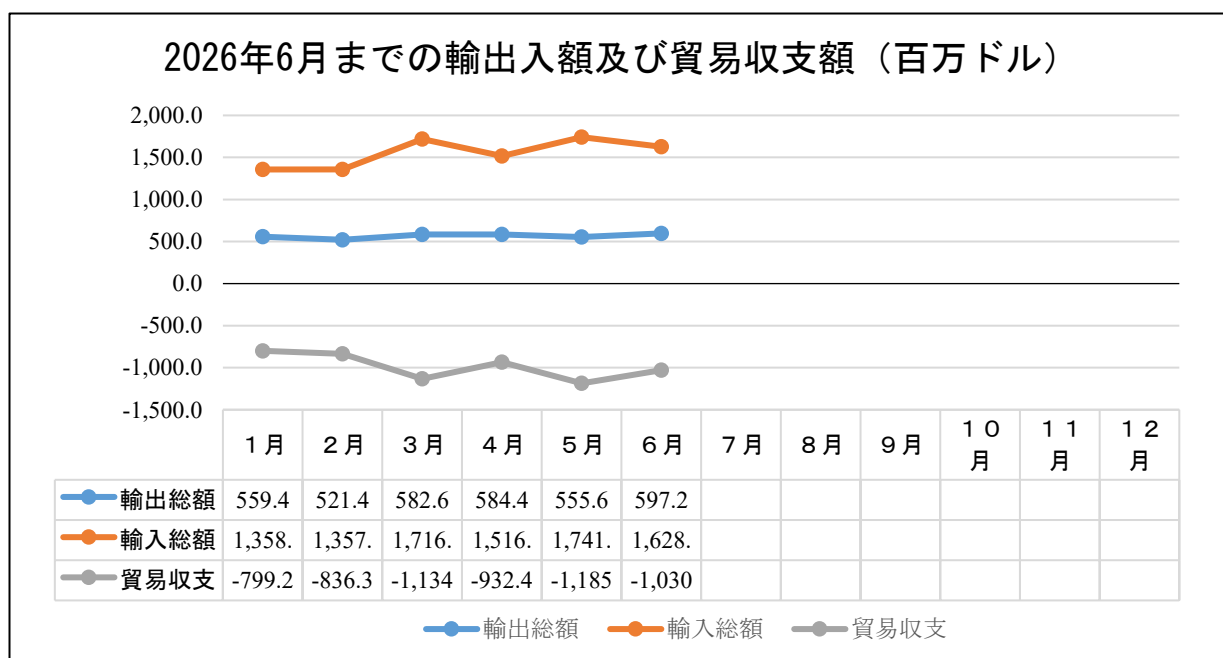
5 貿易総額

2025年の輸出総額は64億2,851万ドル（前年比1.9%増）。輸入総額は178億4,831万ドル（前年比12.9%増）となった。



※2024年数値は、2025年発表により修正されたもの。

（エルサルバドル中銀データをもとに作成）



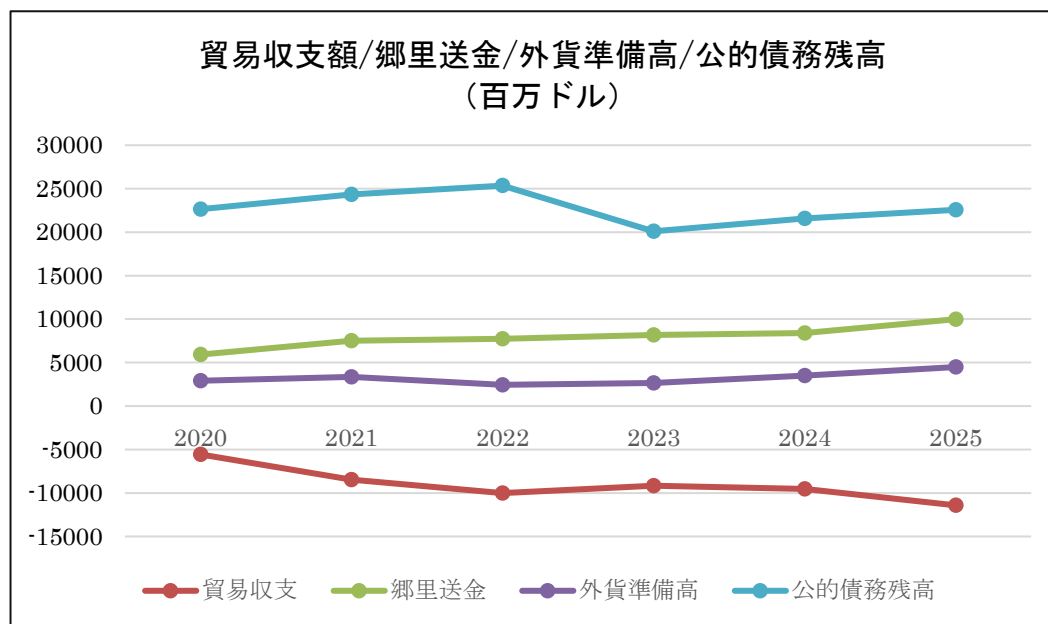
（エルサルバドル中銀データをもとに作成）

6 貿易収支額・郷里送金・外貨準備高・公的債務残高

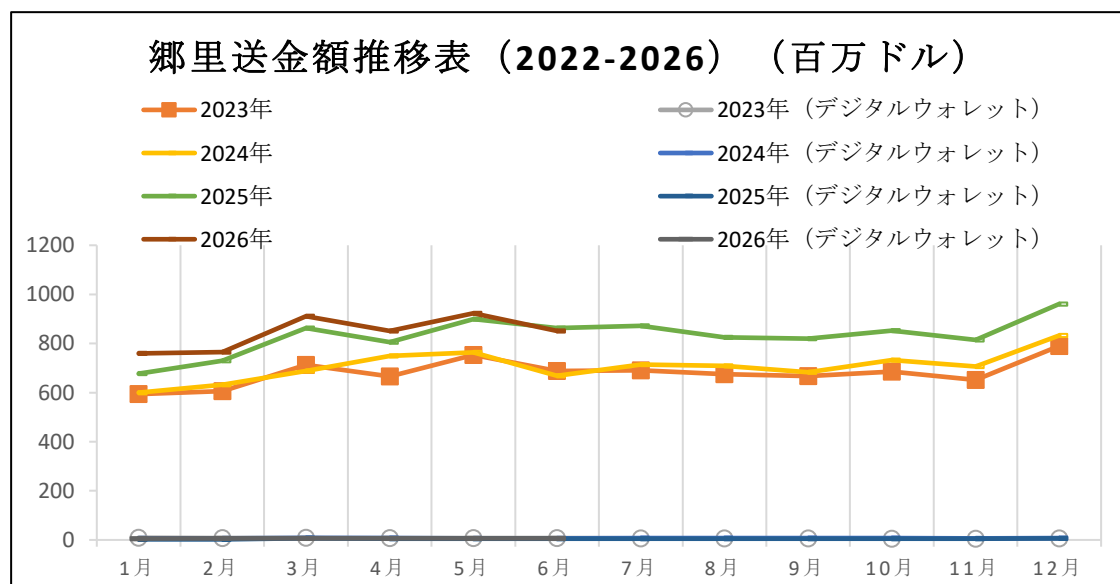
2025年の貿易収支額はマイナス114億1,980万ドルとなり、前年より赤字額が19億2,718万ドル増加した。（エルサルバドル中銀2025年報告書統計の数値）

2025年の郷里送金額は99億8,790万ドルとなった。そのうち米国からの送金

は、全体の91.6%（92億2,490万ドル）を占めた。



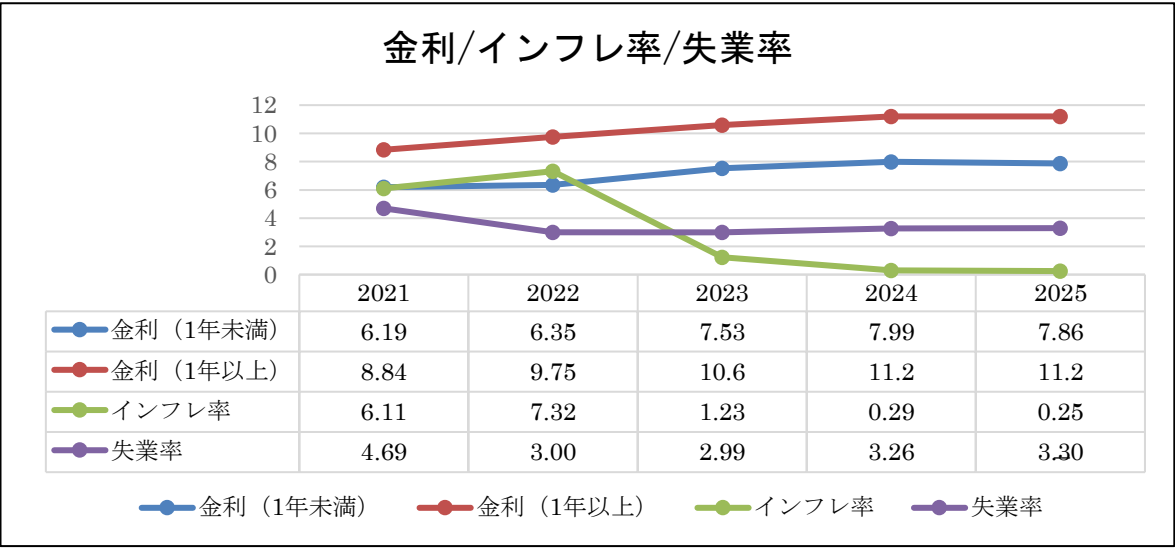
(エルサルバドル中銀データをもとに作成)



(エルサルバドル中銀データをもとに作成)

7 金利・インフレ率

2025年のインフレ率はプラス0.25%であった。また中央銀行（BCR）による2025年の失業率は現時点で公表されていない（世界銀行データ3.3%）。



(エルサルバドル中銀データ (失業率のみ世界銀行データ) をもとに作成)